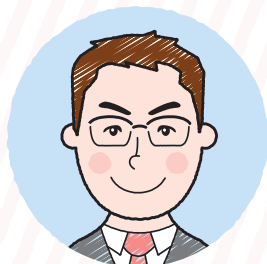


社長通信

株式会社 福島人材派遣センター
代表取締役社長 安田 敬

2017 8・9月号

Vol.9



社員の皆さん、関係各位の皆様、こんにちは。代表の安田でございます。日頃はそれぞれの職場で大変お世話になっております。

3.4月号に引き続き社長通信を発行させていただきました。前月号では、疲れをとる「かんたんレシピ」として、派遣職員の〇さんにご投稿をいただきました。この場をお借りして御礼を申し上げます。私も二児の息子をもつ父親として、レシピは大変参考になりました。

今後も社員の皆様に、会社のことをもっと詳しく知っていただき、より身近に会社を感じてもらいたく編集を考えております。是非、ご意見ご感想をいただければと思います。今後とも宜しくお願い致します。

32周年を迎えて

7月は梅雨に入ったかと思えば、晴天が続き暑い日が続きました。後半になっても梅雨らしい日が少なく、農作物の成長が心配されていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

弊社は7月1日に、会社設立32年目を迎えることができました。日頃お世話になっております「派遣・委託・契約職員の皆様」、関係各位の皆様方に厚く御礼を申し上げます。これまでも様々な皆様の支えがあってこの日を迎えることが出来たと思います。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

昭和61年7月1日。私は当時高校3年生でしたが、両親から会社設立の話を聞きました。専業主婦の母が社長になったことは、10代の自分には大変衝撃的でした。社会経験が栄養士として働いた数年の母親にとってはどんな気持ちだったか、亡くなった今となっては知る由もありませんが、当時は女性の起業は珍しく、ご支援いただいた地元金融機関をはじめ多くの皆様にご支援いただいたようでした。

社長としては15年ほど、創業者として会社の基礎をつくり会社に貢献いただきました。

晩年は、好きだった短歌の編纂作業や思

い出の地を回って過ごしておりました。

女性の社会進出や、男女共同参画など時代は大きく変わり、AIの導入やグローバル化などこれからの社会は先行き不透明ですが、ニコニコと机越しから見える母の笑顔を思い出すと乗り越えていけそうな気がします。

今後は皆様と共に、実り多い人生が送れることを目標にしっかりと会社運営をおこないたいと考えております。

社員の皆様、関係各位の皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

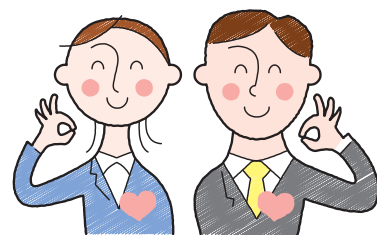
新体制で臨みます!!

7月1日より内部の体制と役職者が変更となりましたので、ご報告申し上げます。

大きな変更点として、営業本部を郡山支社に移管しました。本社は引き続き、総務関係と職業紹介事業を担当させていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

営業本部

本部長	北浦 典子(新任)
マネージャー	澤井 仁(昇任)
パブリックビジネス室長	大柿 貞夫(昇任)
営業担当	太宰 文恵
営業担当	佐藤 美枝



派遣スタッフさん インタビューコーナー

福島人材派遣センターの派遣スタッフとしてご活躍中の方に、どんなお仕事されているかお話をうかがいました。

英語翻訳
Yさん

こんにちは。私は福島人材派遣センターさんの英語翻訳仕事を家で行っています。

短大卒業後、英文事務職や海外でのアルバイトを経験しました。結婚を機に主人の住む福島県に移り、子育てが始まった頃、主人が勤める会社から文書の英訳を頼まれました。それがきっかけで翻訳の勉強をしました。

翻訳は「迅速で正確」を心がけています。原稿を頭から英語に置き換えたあと、パソコン画面だけでなく印刷して見たり、英文だけで読んだりして何回も見直します。調べものはインターネット検索を活用します。

福島人材派遣センターの担当の方は面倒な確認作業なども快く協力して下さい、おかげさ

まで毎回の案件が完了できています。

これからも福島人材派遣センターさんの仕事を続けて、在宅でプライベートと仕事を両立していきたいです。

今年度の事業取り組みについて

取り組み その1

イクボス宣言!!

平成29年7月1日に郡山市男女共同参画課において「イクボス宣言」をおこないました。

「イクボス」とは？

職場でともに働く部下のワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむ

ことができる上司(経営者・管理職)として、上司自らが宣言することです。「イクメン」は、子育てに積極的に関わる男性ですが「イクボス」は、男女問わない経営者や上司です。働きやすい職場環境づくりをさらに推進するため、福島県に「イクボス宣言」を行いました。



取り組み その2

子会社の登記変更をおこないました。

平成29年6月12日に、子会社の「株式会社フクジン」は「株式会社フクジンキャリアサポート」に社名を改め、新たな出発を致しました。

「管理系マネジメント」、「エンジニア」、「医師」を中心とした職業紹介事業をおこない、大手WEBサイトを活用した「全国区の求職者情報サービスの活用」や業界団

体、自治体との連携のもと、同業他社にはない人材マッチングをご提案いたします。優秀な人材の提供を通して、地元福島県内の経済界に貢献して参ります。

株式会社フクジンキャリアサポート

〒960-8041 福島県福島市大町4番4号
東邦スクエアビル7F



HP開設いたしましたのでぜひご覧ください。
<http://www.fukujin-career.co.jp>

今、注目されている話題をご紹介 人財ビジネス日記

≫FUKUSHIMAの未来

福島県知事 内堀雅雄氏の講演会に参加して

7月31日、福島市内で県知事の講演会に参加しました。内容がとても分かりやすかったので、皆様の一部をご紹介します。

福島県の課題

1. 福島の復興

福島県の避難地域の割合はどのくらいでしょう？
100% 世界の認識
12% 2011年3月時点の数字
9% 今年までに避難指示が解除された数字
3% 現在の数字
0% 目標の数字

誤った認識が、風評被害につながっている。私たち福島県民が、外に向けて発信することがとても大切。

▶ちょっとやってみよう!!

県民一人一人が出来ることから、はじめよう!!

①避難解除地域への訪問

葛尾村の石井食堂さんなど美味しいお店が各地にオープン。足を運んでみよう。

②県外の知人、友人への一言

食の安全、安心。住居の安心、安全。一言伝えよう。

2. 地域創成

202万人…2010年の福島県の人口

186万人…2020年 //

146万人…2040年 //

福島県に限らず、少子高齢化により人口減少社会になっている。県民の健康増進(心筋梗塞患者数はワースト1)、子ども・若者育成の強化 魅力ある産業政策の強化が必要になっている。

▶ちょっとやってみよう!!

県民一人一人が出来ることから、はじめよう!!

①健康増進

毎日のちょっとした運動。会社での立ち会議(イスなしミーティング)。

②産業自慢

航空機産業 生産額 全国1位

医療機器産業 生産額 全国2位

魅力ある企業がたくさん。魅力ある仕事ができることを実感しよう。

福島の復興や地域創成は、ひとえに県民一人一人にかかっています。おとなしい県民性も良いのですが、今この時にしかできないことをおこなうことがとても大切に感じました。全てのキーワードは「挑戦」です。我々が未来の福島県を創っていくことを認識しました。

最後に、福島県が生んだ偉人「野口英世」氏は、以下言葉を残しました。

～私たちが変えられるものは二つあります～
一つは「自分自身」 もう一つは「未来」

自分の生き方を考え直す良い機会になりました。知事、ご講演ありがとうございました。